緊急地震速報受信装置

【取扱説明書】

品　番　　WZ-2100HB

FTCC

このたびは、緊急地震速報受信制御装置をお買い上げいただき、
まことにありがとうございました。

・ この取扱説明書と保証書をよくお読みのうえ、正しくお使いください
そのあと保存し必要なときにお読みください。

・ 保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ
販売店からお受け取りください。

商 品 概 要

このたびは緊急地震速報受信制御装置をお買い上げいただきまことにありがとうございました。

本機は、気象庁配信の緊急地震速報をインターネットに接続して受信する壁取付型の緊急地震速報受信機です。地震発生時に気象庁より発せられる速報電文を受信・演算して、お客様に警報で到達予測震度と猶予時間をお知らせします、また警報と同時に制御信号を出力して自動的外部制御（放送アンプ・その他外部制御機器）の制御を実行します、また音声終了後約10秒後（工場出荷時）に全システムの制御を解除します。
また、操作面のキースイッチで外部制御機器の ON ・ OFFができますのでメンテナンス時にご利用できます。
本体は 壁付けですのでスペースをとりません、また本機はP波地震計と連動できます。

付属品をご確認ください

WZ-2100HB

WZ-2100HB受信機本体	1
付属 ACアダプター	1
SDカード（　　MB）	1
LAN ケーブル （2ｍ）	1
取扱説明書（本紙）	1
取扱説明書（別紙）	1
外部制御連動オン ・ オフ用 キー	4
壁掛用取付金具	4

本書について

本機の設置及び接続に関する説明は本書をお読みのうえ正しくご使用ください。

● 緊急地震速報装置の設置前に、お客様ユーザー登録が必要なので必ず設置前にユーザー登録及びインターネット接続環境を行なっておいてください。

● 本機から出力している音声を接続する、放送アンプへの接続は各自放送設備の取扱説明書をよくお読みの上、接続してください。

● 外部制御連動回路に接続する、各装置の詳細にいたっては本機の制御接点と適合するか、必ずご確認ください。場合によっては外部制御機器のメーカー打ち合わせが必要になります。

目 次

安全上のご注意

必ずお守りください

■ 安全にお使いいただくために

本取扱説明書には、本製品を安全に正しくお使いいただくための重要な情報が記載されています。
本製品をお使いになる前に、本取扱説明書を熟読してください、特に「安全上のご注意」をよくお読みになり理解されたうえで本製品をお使いください、また本取扱説明書は本製品を使用中いつでもご覧になれるよう大切に保管してください。

◎ 保証書について

- 保証書は、必ず必要事項を記入し内容をよくお読みください、その後大切に保管してください。
- 保証期間内に正常な使用状態で故障した場合は無料で交換いたします。
- 保障期間内であっても保証書の提示がない場合や天災あるいは無理な使用による故障の場合などには、交換いたしかねますことご了承ください。
（詳しくは保証書をご覧ください）45ページ

◎ 本製品の用途について

- 本製品は一般事務所用、家庭用などの一般用途を想定したものであり、ハイセイフティ用途での使用を想定して設計・製造されたものではありません。ハイセイフティ用途とは、以下の例のような極めて高度な安全性が要求され仮に当該安全性が確保されない場合、直接生命・身体に対する重大な危険性を伴う用途を言います。
- 原子力施設における核反応制御、航空交通管制、大量運送システムにおける運行制御、生命維持のための医療用機器、など。

◎ 注　意

本製品は、取扱説明書に従って正しく取り扱ってください。

- 本製品には有寿命部品が含まれています。

本製品の構成部品（プリント基板、液晶ディスプレイなど）には、微量の重金属（鉛、クロム、水銀）や科学物質（アンチモン、シアン）が含有されています。

本製品の使用環境は、温度0～40℃・湿度10～80%RH（動作時）、温度10～60℃・湿度20～90%RH（非動作時）です（ただし、動作時、非動作時とも結露しないこと）。

本製品は、日本国内での使用を前提に製造されてます。海外では使用できません。

◎ 電源プラグとコンセントの形状の表記について

本製品に添付されているACアダプターの電源プラグは「平行2極プラグ」です。本書では「電源プラグ」と表記しています。接続先のコンセントには「平行2極プラグ（125V15A）用コンセント」をご利用ください。本書では「コンセント」と表記しています。

必ずお守りください

安全上のご注意

- ご使用前にこの欄を必ずお読みになり正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので必ず守ってください。
- お読みになった後はいつでも見られるところに必ず保管してください。

表示について

ここでは、製品を安全に正しくお使いいただきあなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止する為に、いろいろな表示をしています。

内容をよく理解してから本文をお読みください。

図記号について

注意を促す記号	行為を禁止する記号	行為を強制する記号
注　意	禁　止　　分解禁止	強　制

警　告　誤った取扱をしたとき、人が死亡または重症に結びつく可能性のあるもの。

水にぬらさない

本機に水が入ったりしないようまた、ぬらさぬようご注意ください。
火災・感電の原因となります。

禁　止

安全上のご注意

必ずお守りください

警　告

誤った取扱をしたとき、人が死亡または重症に結びつく可能性のあるもの。

指定外の電源電圧で使用しない

表示された電源電圧以外の電圧で使用しないでください。
火災・感電の原因となります。

禁　止

電源コードを傷つけない

電源コードを傷つけたり加工したり熱器具に傷つけたりしないでください。
また、コードの上に重いものをのせないでください。
火災・感電の原因となります。

禁　止

万一、異常が起きたら

次の場合電源スイッチを切り、電源プラグを抜いて販売元にご連絡ください。
そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

- 煙が出ている、変なにおいがするとき
- 内部に水や異物が入ったとき
- 落としたり、ケースを破損したとき
- 電源コードが傷んだとき（芯線の露出、断線など）
- 音が出ないとき

注　意

安全上のご注意

警　告

誤った取扱をしたとき、人が死亡または重症に結びつく可能性のあるもの。

内部を開けない、改造しない

内部には電圧の高い部分がありケースを開けたり改造したりすると火災・感電の原因となります。
内部の点検・調整・修理は販売元にご依頼ください。

分解禁止

内部に異物を入れない

本機の内部に金属類や燃えやすいものなど、異物を差込んだり落とし込んだりしないでください。
火災・感電の原因となります。

禁　止

工事は販売店に依頼する

工事には技術と経験が必要です。火災・感電・けが・器物破損の原因となります。必ず販売元にご依頼ください。

強　制

重量に耐える場所に取り付ける

取付場所の強度が不十分だと、落下や転倒などでけがの原因となります。

強　制

安全上のご注意

必ずお守りください

警　告

誤った取扱をしたとき、人が死亡または重症に結びつく可能性のあるもの。

電源プラグは根元まで確実に差し込む

傷んだプラグ、ゆるんだコンセントは使用しないでください
差し込みが不完全ですと、感電や発熱による原因となります。

強　制

電源プラグのほこり等は定期的にとる

プラグにほこり等がたまると、湿気等で絶縁不良となり
火災の原因となります。

● 電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。

強　制

指定された物以外のACアダプターや電源コードを使用しない

添付もしくは指定された物以外のACアダプターや電源コード
を本製品に使ったり本製品のACアダプターや電源コードを他
の製品に使ったりしないでください
火災・感電の原因となります。

禁　止

ACアダプター本体にコードを巻きつけない

ACアダプター本体に電源コードをきつく巻きつけるなどして根元部分
に負担をかけないでください、電源コードの芯線が露出したり断線し
たりして火災・感電の原因となります。

禁　止

注　意　誤った取扱をしたとき、人が損害または物的損害に結びつく可能性のあるもの。

ぬれた手で電源プラグをさわらない

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。
感電の原因となることがあります。

禁　止

設置場所に注意

湿気やほこりの多い場所、直射日光のあたる場所や熱器具の近く、
油煙や湯気のあたるような場所に置かないでください。
火災・感電の原因となることがあります。

禁　止

通風孔をふさがない

通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

禁　止

安全上のご注意

必ずお守りください

注　意　誤った取扱をすると、人が損害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

液晶ディスプレイ部の破損

液晶ディスプレイ部はガラスでできてます、液晶ディスプレイ部が破損したとき、ガラスの破片には直接触れないでください。
けがをするおそれがあります。

注　意

製品の上にのらない

本機に乗ったりぶらさがったりしないでください倒れたり落ちたりしてけがの原因となることがあります。

禁　止

上に重いものをおかない

バランスがくずれて倒れたり落下してけがの原因となることがあります。

禁　止

長時間、音が歪んだ状態で使わない

スピーカが発熱し、火災の原因となることがあります。

禁　止

温度差のある場所への移動

移動する場所で温度差が大きい場合は、表面や内部に結露することがあります、結露した状態で使用すると、発煙・火災や感電の原因となります、使用する場所で数時間そのまま放置してからご使用ください。

強　制

■ 緊急地震速報とは

● まず地震の揺れの仕組みは地震が発生するとP波（初期微動）およびS波（主要動）と呼ばれる2つの波が地中を伝播します。この波の伝播速度はP波のほうがS波より速いため、初めにP波が伝わりそれから「主要動」と呼ばれる大きな揺れをもたらすS波が伝わってきます。

● 日本全国にある約、1,000ヶ所の地震計を利用し地震発生時には震源に近い観測点（地震計）でこのP波をとらえます。そのデータから直ちに震源（軽度・緯度）、地震の規模（マグニチュード）を推定しこれを情報として迅速に利用者に提供するシステムを「緊急地震速報」と言います。

● 本製品はこの情報を受信し、設置している地点の各種情報（緯度・軽度・地盤増幅率）をもとに実際に起こる地震の大きさ（震度）と到達までの時間を予測演算し警報を行ないます。

※ 地盤増幅率とは・・・表層地盤の構造（硬さ）をもとに揺れの伝わる割合を表すものです。

● システム上、警報が実際の地震到達に間に合わなかったり、予測数値に誤差が生じたりまた誤報を受信する場合がありますので、予めご了承ください。

■ 必要ネットワークについて

※ 接続にあたって必要となりますネットワーク環境、および機器類（ルータ・ハブ等）はお客様にてご用意ください。

① インターネット常時接続回線が必要です（ADSL、FTTH、CATVなど、ダイアルアップ以外）
② 建物内LAN環境でのIPアドレスの取得が自動になっていること（DHCP有効設定）。
③ ご使用のプロバイダーにてTCP[9001」ポートが開放されていること。
④ その他、ファイヤーウォールなどの設定をしていないこと。

本製品は、お客様の地震による被害を極力少なくするためのものでありお客様の財産や命を守るためのものではありません、実際に地震が発生した時のために、避難経路などを確認し、日頃から地震対策を十分に行なってください。

緊急地震速報の受信機はお客様自身の自己責任でなされるものであり、弊社および販売元は、使用によって発生したいかなる損害（速報内容の誤報により生じた損害を含み、直接損害・間接損害の別を問わない）やその修理費用等に関して、一切の責任を負いません。

ご利用になる前に

■ 地震発生時の定義とその状況

● 震度 ０

人は感知できないが、機械が感じる。

● 震度 １（微震）

ある一部の人や座っている人が感じる。

● 震度 ２（軽震）

ほとんどの人が感じて、窓や電灯の吊り下などが揺れる。

● 震度 ３（弱震）

家、電灯、窓、食器などが揺れ、音を立てることがある。

● 震度 ４（重震）

家が大きく揺れて花瓶などが倒れる。歩いている人も揺れを感じる。

● 震度 5弱（強震）

窓ガラスが揺れたり、ブロック塀にひびが入ったり、一部の人は行動に
支障を感じる。

● 震度 5強（強震）

非常に恐怖を感じて、多くの人が行動に支障を感じる。変形によりドアが開かなくなり
重い家具が倒れることがある。

● 震度 6強（烈震）

立っていることができず、はわないと動くことができない。多くの建物で壁のタイルや窓
ガラスが破損・落下する。補強されていないブロック塀のほとんどが崩れる。

● 震度 7強（烈震）

揺れに翻弄され自分の意志で行動できない。ほとんど家具が大きく移動し、飛ぶもの
もある。大きな地割れ、地すべりや山崩れが発生し、地形が変わることもある。

■ 日ごろからの対策

地震は、いつ・どのような規模で起きるかわかりません。
せっかくの緊急地震速報も、事前の準備ができていなければ利用価値が半減してしまいます、以下を参考にお客様自身で事前の準備を十分に行なってください。

- 家具が倒れたり、上にあるものが落ちたりすると、けがをするばかりではなく、避難時の障害にもなります。
  市販の固定器具などを利用し、家具の固定・転倒防止をしておきましょう。また棚の上のものは安易に落下しないようにしておきましょう。

- オフィスなど常時いるような場所は、倒れやすいものを置かず、避難経路を確認しておき、非常時はすぐに避難できるようにしておきましょう。また、近くに靴やスリッパを常備して置きましょう。

- 不特定多数の出入が多い建物では、その建物の社員同士が各自、地震速報放送を認識して緊急地震速報が放送された場合の各自の行動や避難経路や避難場所への移動を訪問者にも認識していただきすみやかに避難行動がとれるように心がけておきましょう。

- 非常時の用意
  消火器・ハンマー等、避難経路の確保に必要なものは、すぐに取り出せる所にひとまとめにしておきましょう。

- 非常時の持ち出しの用意
  食料品関係・貴重品・衣類・靴・防災用品・照明器具・携帯電話・簡易充電器なども、すぐに持ち出せるようにまとめておきましょう。

- 職場同士や家族間で話し合いをして非常時の避難経路や避難場所を決めておきましょう

■ 実際に地震が発生した場合の行動要領

● 緊急地震警報の受信時、および地震発生時

まずは身の安全を確保

倒れやすい家具などから離れ、丈夫なテーブル・机の下に隠れてください。

火元の始末

ガスコンロなどの火を止める。また、電熱ヒータなどの熱源となる機器の電源も切ってください。

● 地震発生後（揺れが収まったら）

避難経路（出口）の確保

避難を開始

ガスの元栓を閉め、ブレーカも切ってください。職場や家に避難先や安否情報をメモしたものを残していくようにしてください。避難は必ず徒歩で行い、車などの使用は避けてください。割れたガラスなどに注意してください。また、漏電・ガス漏れにも注意してください。

火の始末

火が出ているのであれば、すぐに初期消火してください。一人で手に負えないようであれば、すぐに近くの人か近所に協力を求めるようにしてください。

家族および周りの人の無事を確認

負傷している人がいるのであれば、応急処置を施し避難を助けてください。

正しい情報収集

デマ情報に惑わされず、テレビ・ラジオ等で正しい情報を得て、的確に行動するようにしてください。

余震に注意

比較的大きな地震が発生すると、その近くで最初の地震より小さな地震が発生します。この地震のことを「余震」と言います。大きな地震が収まったからといって、倒れやすいもののそばに近寄ったりしないでください。

■ 設置する前に

本機はお客様の購入した機器のIDと住所などの情報がサーバーに登録されないと正常に動作（地震警報が発報）しませんので、必ず利用申し込み登録を行なってください。

■ 利用申し込み登録方法

● 同梱している、（緊急地震速報情報配信サービス利用申込書）に必要事項を記入してください。

● 下記のいずれかの方法により、ユーザー登録を行なってください。

※ 登録の際必要となる通信費用につきましてはお客様の負担にてお願いいたします。

● FAX（登録完了までに2～3日かかります。）
（サービス利用申込書）を次の番号に送ってください。

FAX ：04－7172－7906

● 郵送（登録完了までに弊社着後2～3日かかります。）
（サービス利用申込書）のコピーしたものを次の宛先に送ってください。

送り先

※ 必要事項を記入した（情報配信サービス申込書）と本誌は大切に保管してください。

● サーバーへの登録が完了いたしますと、情報受信ができるようになります。
登録完了後通知はいたしかねます。登録の状況は端末の表示を参照し確認してください
また、情報受信を継続する場合は（配信サービス利用申込書）記載の月額利用料に基づき「サービス利用料」の入金を行なってください。

ご入金が一定期間確認できない場合は、対象の端末に対しての情報配信を停止させて頂くことがございますことご了承ください。

機器の設置

■ 機器の設置方法

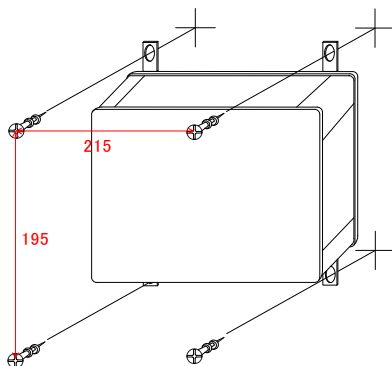
● 本機を壁面に設置する

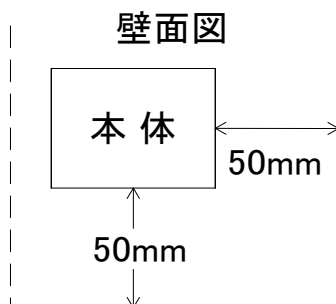
本機を壁面に固定してください。固定面は強度的に十分な壁に設置してください。

● 壁面に取付ける

壁面に木ネジなどで本機を取付ける。

壁取付け寸法　　幅 215mm　　高さ 195mm

取付けネジは壁の強度に応じてアンカー(現地手配)などでしっかりと固定してください。

● **設置場所の障害物について**

壁面下図の範囲内には障害物を置かないでください。

■ 機器への接続方法

※ 必ず電源を入れる前に接続を行なってください。

● LAN （インターネット）

すでにお客様が用意されたルーターまたはハブと本体を、LANケーブルで
接続してください。

※ 一般家庭ネットワーク構成では特別な設定は不要です。

● 音 声 OUT

RCAピンジャックのMICケーブルで、放送アンプの音声入力に接続してください。

※ 放送アンプへの接続の詳細は、各機器の取扱説明書を参照してください。

● 接続端子 （外部制御・その他）

信号線（ペア線）で、各外部制御を起動させる装置に接続してください。

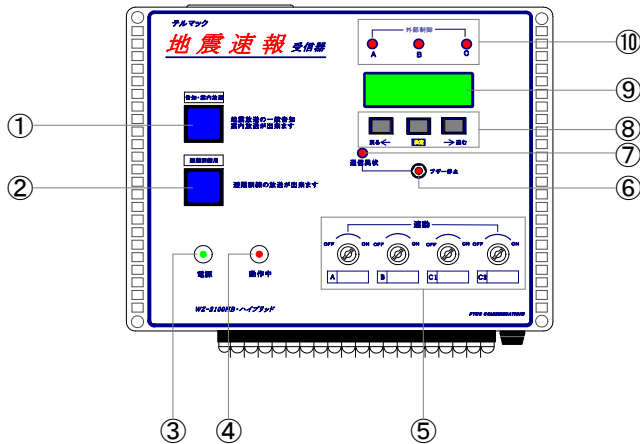
※ 外部制御の使用例

① 放送アンプへの地震速報の鳴動、緊急放送によるBGM遮断装置（カットリレー）。
② 告知放送、プログラムタイマーによる自動放送。
③ 自動ドア、セキュリティーロック・ドア、などのパニックオープン。
④ エレベータ、エスカレータ、などの緊急停止。
⑤ 工場などにおけるライン緊急停止、緊急回転灯などの点灯。
⑥ その他の緊急制御。

※ 外部制御を起動させる外部機器への配線、適合、接続には各機器のメーカーとの
打ち合わせが必要です。

※ 放送アンプ制御、ならびに外部制御の設置・配線に関しては弊社または販売元
にご依頼、ご相談ください。

各部の名称

■ 操作面

① **操作ボタン（告知・案内放送）**
　地震速報の告知放送ができる操作ボタンです。

② **操作ボタン（避難訓練用）**
　避難訓練を行なう前の告知放送ができる操作ボタンです。

③ **電源ランプ**
　ACアダプターからの通電により点灯します。

④ **動作中ランプ**
　緊急地震速報動作、避難訓練、告知・案内放送、テスト放送、動作中により点灯します。

⑤ **外部制御起動 オン・オフキースイッチ（A・B・C1・C2）**
　外部機器への連動を、キースイッチでオン・オフするスイッチです。

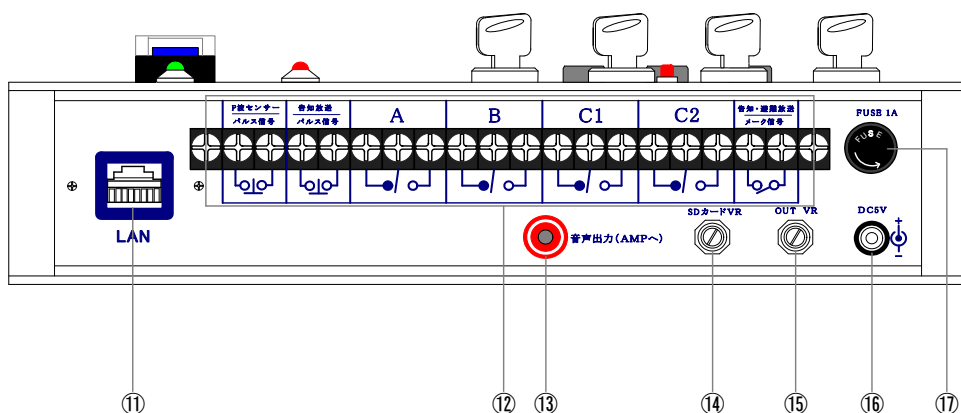
⑥ **ブザー停止ボタン**
　ネットワーク回線異常時に鳴るアラーム音を止めます。

⑦ **通信異常ランプ**
　ネットワーク（LAN）回線に異常が起きると点滅します。

⑧ **メニュー操作ボタン（戻る・決定・進む）**
　表示内容の切替や各種設定の操作ボタンになります。

⑨ **ディスプレイ**
　基本・地震警報・地震履歴・設定内容各種の情報を表示します。

⑩ **外部制御 A・B・C 動作表示ランプ**
　外部制御起動中に点灯します。

■ 接続端子面

⑪ **LAN 接続端子　イーサーネット コネクタ**
インターネットに接続するためにLANケーブを接続します。

⑫ **外部制御接続端子**
放送設備・外部制御・P波センサー・告知放送、などの制御接点、入出力端子になります。

⑬ **音声出力（AMPへ） / 0dB 10k**
緊急地震速報、告知、避難訓練、放送の音声出力端子になります。

⑭ **SDカード VR**
SDカード記録音声を調整するためのボリュームです。

⑮ **OUT VR**
放送アンプに送る（SDカード記録音声、内蔵スピーカ）音声を調整するための
ボリュームです。

注 音量調節で、過大音量で出しますと本機や放送アンプの故障の原因となる
おそれがありますので、適正音量を調節してください。

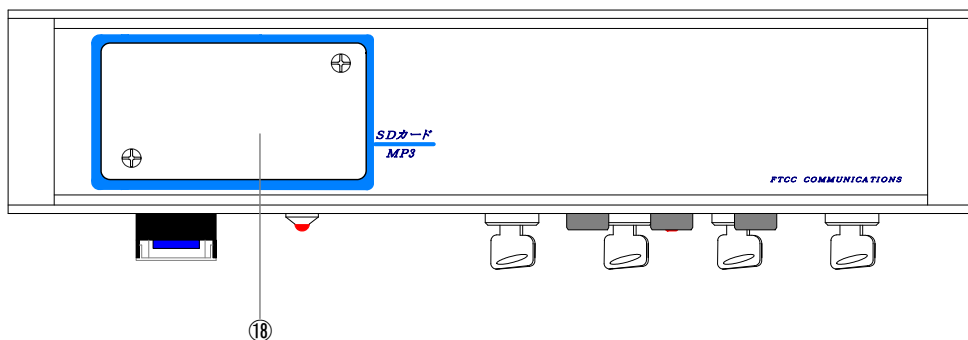
⑯ **電源入力コネクター**
商用 AC100V電源に付属の専用ACアダプターで接続します。

注 ACアダプターは必ず付属の専用アダプターをご使用ください。

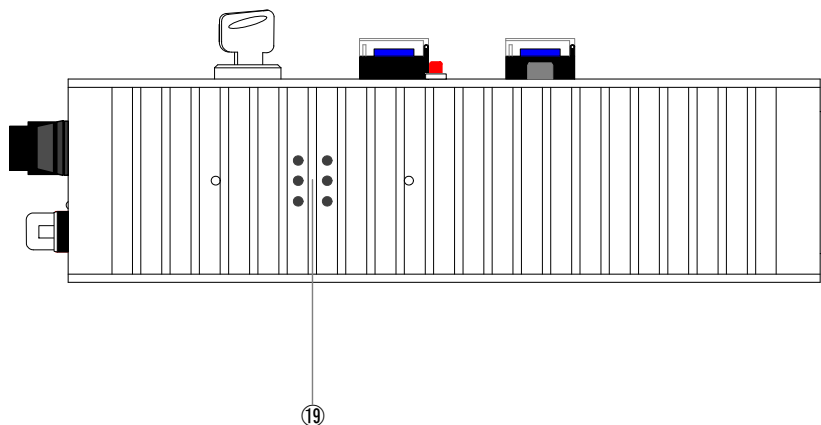
⑰ **ヒューズ・ホルダー**
付属の（2A)ヒューズを使用します。

注 各接続コネクターはしっかり根元まで差し込んでください、差し込みが不完全
だと機器が正常に働かず故障や火災・感電の原因となることがあります。

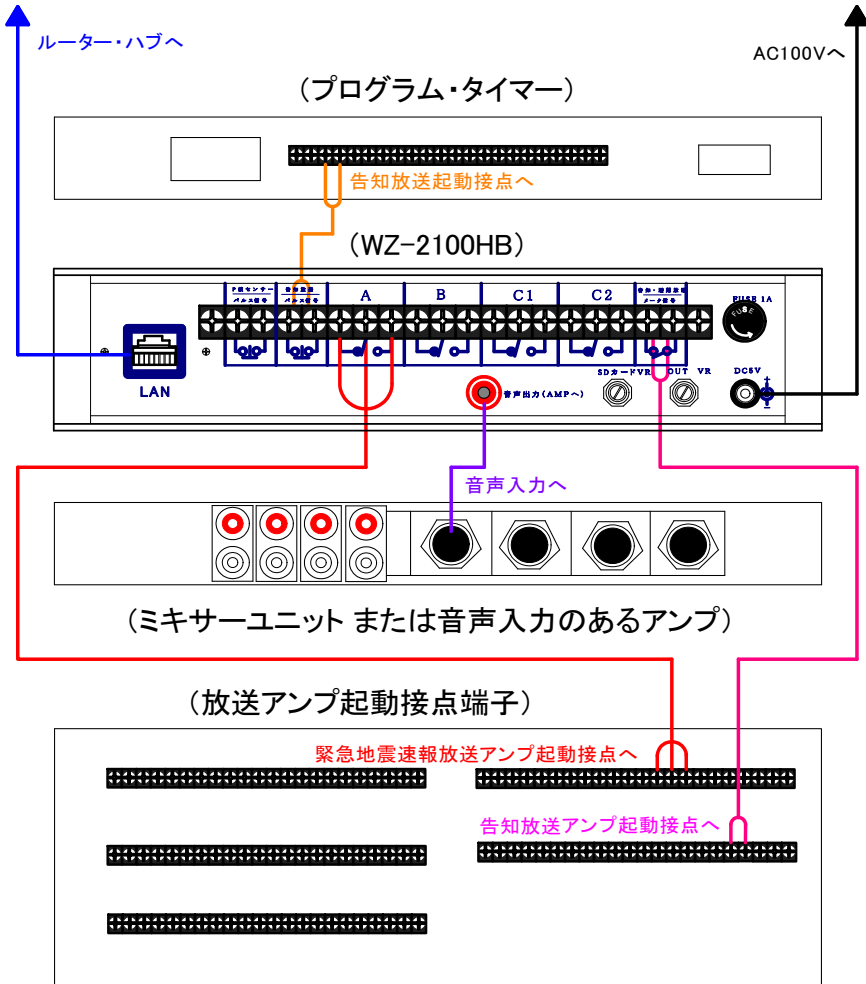
各部の名称

■ 上　面

⑱ **SDカード・スロットル**
緊急地震速報、告知、避難訓練、放送のアナウンス・データ(MP3)の記録された
SDカードの挿入口です。

注 SDカードは必ず付属のSDカードをご使用ください。

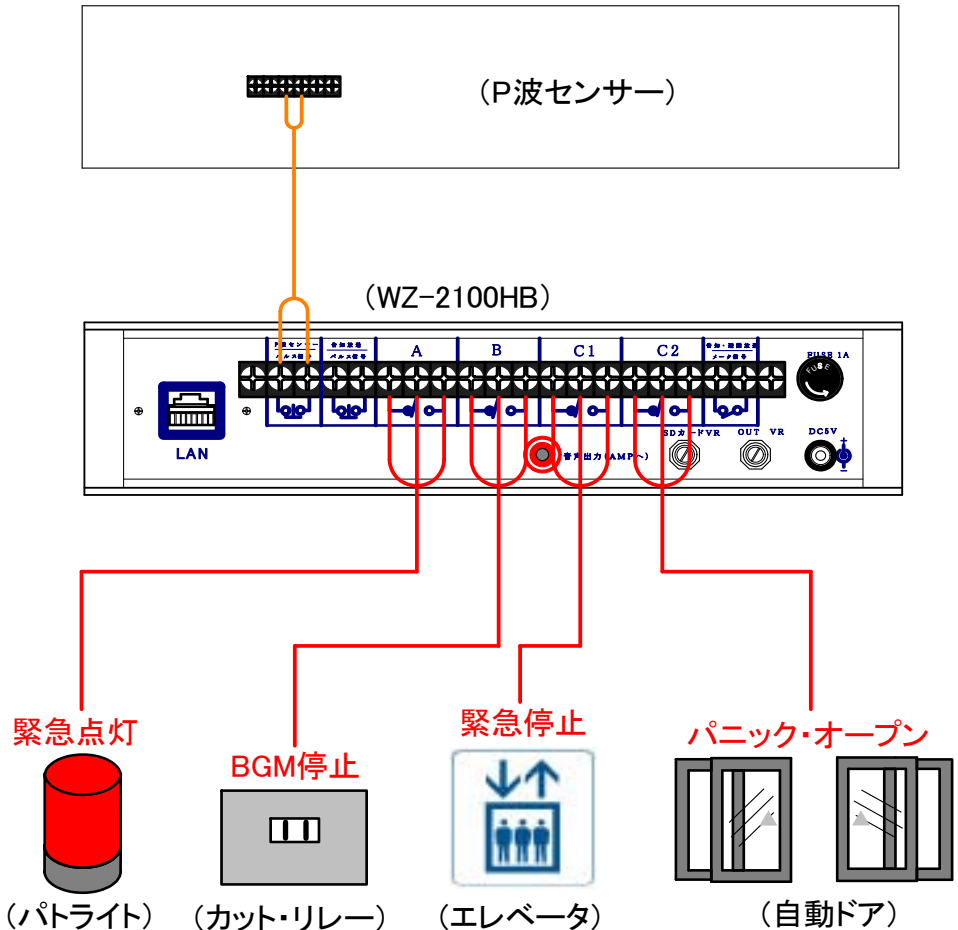
■ 右横面

⑲ **内蔵スピーカ**
緊急地震速報、避難訓練、告知・案内、などの音声を発報します。

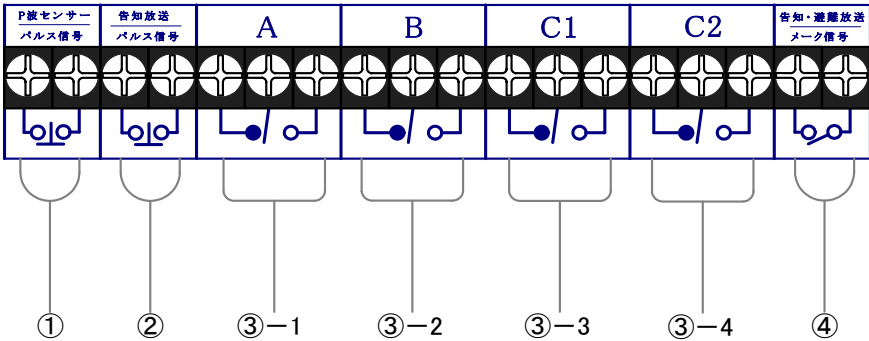
■ システム接続例

● 緊急地震速報装置（WZ-2100HB）から放送アンプへ、起動信号と音声信号を送ります。

● 放送アンプへの制御接続、音声入力接続に関しての詳細は、各放送アンプ機器の取扱説明書をお読みのうえ正しい接続を行なってください。

接続方法

■ システム接続例

● 緊急地震速報装置（WZ-2100HB）から外部制御、起動信号を送ります。

● 外部制御の接続は各機器の取扱説明書をお読みのうえ正しい接続を行なってください、また、外部制御の接続は各機器の取扱説明書をお読みのうえ、本機の制御接点と適合するかご確認ください。また外部の制御する装置にあたっては、各機器のメーカーとの打ち合わせが必要となります。

■ 接続端子一覧

① **P波センサー / パルス信号**
P波センサー（パルス信号受信接点）接続端子になります。
P波センサーはオプションで取付け、接続することができます。

② **告知放送 / パルス信号**
地震速報告知放送をプログラム・タイマーなどで自動放送する起動接点になります。

③－１～４　**A・B・C1・C2 外部制御起動接点**

③－１**A 外部制御**
緊急地震速報信号受信時、（設定震度A）に外部への連動制御接点になります。
（C型接点）

③－２**B 外部制御**
緊急地震速報信号受信時、（設定震度B）に外部への連動制御接点になります。
（C型接点）

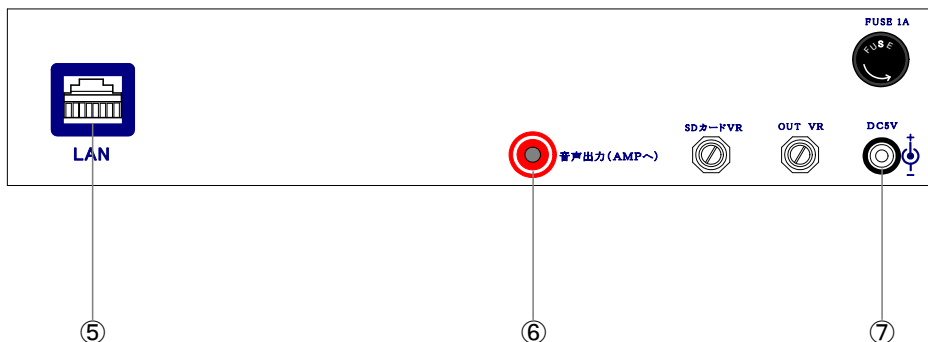
③－３**C1 外部制御**
緊急地震速報信号受信時、（設定震度C）に外部への連動制御接点になります。
（C型接点）

③－４**C2 外部制御**
緊急地震速報信号受信時、（設定震度C）に外部への連動制御接点になります。
（C型接点）

④ **告知放送 / メーク信号出力**
告知放送の放送アンプ起動接点になります。（メイク接点）

注 各端子のネジはしっかり止めてください、ゆるみ等がありますと機器が正常にはたらかないうえに機械の故障の原因にもなり、火災・感電の原因となることがあります。

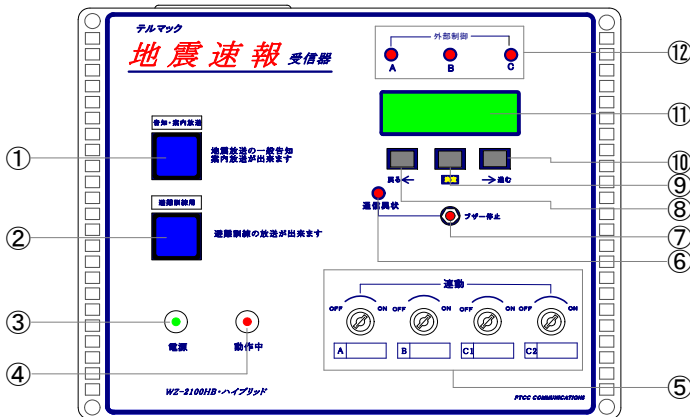
接続端子詳細

■ 接続端子一覧

⑤ **LAN 接続端子　イーサーネット コネクタ**
インターネットに接続するためのLANケーブルを接続する端子になります。
ネットワーク設定が必要な場合は、ご契約のプロバイダーへお問い合わせください。

⑥ **音声出力（AMPへ）　/ 0dB 10k**
緊急地震速報受信音声・告知放送音声・避難訓練、など音声の出力端子になります。
放送アンプの、ライン入力やマトリックスの音声入力と接続します。

⑦ **電源入力コネクター**
商用AC100V電源に付属の専用ACアダプターで接続します。

注 各接続コネクターはしっかり根元まで差し込んでください、差し込みが不完全だと機械が正常に働かず故障や火災・感電の原因となることがあります。

■ 操作面

① 告知・案内放送用 操作ボタン
待機時にこのボタンを押すと、SDカードに記録された告知・案内用コメントが音声出力から流れます、告知・案内を行なう放送ができる操作ボタンです。

② 避難訓練用 操作ボタン
待機時にこのボタンを押すと、SDカードに記録された避難訓練用コメントが音声出力から流れます、避難訓練を行なう前の告知放送ができる操作ボタンです。

③ 電源ランプ
ACアダプターからの通電により点灯します。

④ 動作中ランプ
通常（待機時）は消灯です、緊急地震速報動作、避難訓練、告知・案内放送、テスト放送の起動接点を受信すると点灯し復旧後に消灯します。

⑤ 外部制御起動 オン・オフ キースイッチ （A・B・C1・C2）
接続端子 A・B・C1・C2、に接続する外部への連動制御接点を、緊急地震速報受信中のみにキースイッチでオン・オフすることができます。

⑥ 通信異常
ネットワーク（LAN）回線に異常が起きると点滅します。

⑦ ブザー停止ボタン
ネットワーク回線異常時に鳴るアラーム音を止めます。

注 操作ボタンによる基本プログラム設定は、別紙の取扱説明書をよくお読みのうえ、正しい設定をおこなってください、プログラムが不完全だとシステム上正しい動作を行なわないおそれがあります。

操作方法

■ 操作面

⑧ **操作ボタン（戻る）**
各種設定項目で前画面に戻したりカーソルの移動に使います。

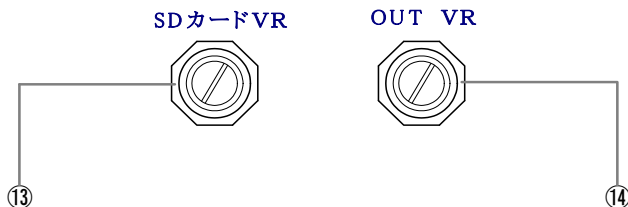
⑨ **操作ボタン（決定）**
各種設定表示内容の決定・実行するたに使います。

⑩ **操作ボタン（進む）**
カーソル移動や、長押しでメニュー画面を表示します。

⑪ **ディスプレイ**
基本・地震警報・地震履歴・設定内容各種の情報を表示します。

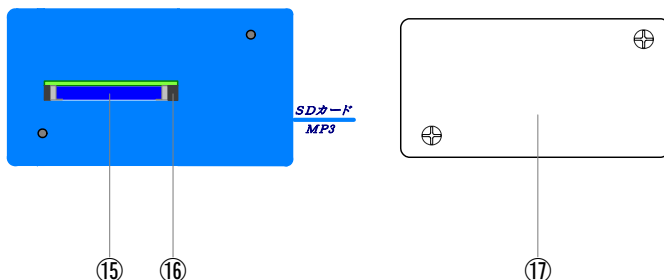
⑫ **外部制御 A・B・C 動作表示ランプ**
地震速報受信中外部への起動中を、A・B・C、と3ランクで表示します。
A・B・C の震度による外部制御震度はメニューにて設定が、できます。

注 操作ボタンによる基本プログラム設定は、別紙の取扱説明書をよくお読みのうえ、正しい設定をおこなってください、プログラムが不完全だとシステム上正しい動作を行なわないおそれがあります。

■ 音量調整面

⑬ **SDカードVR**
SDカード（自主・告知案内・避難訓練放送）音の音量を調節するためのボリュームです。
SDコーダ音声の音量調整は下記の「全体音量」と比較して音量調節を行なってください。

⑭ **OUT　VR**
SDコーダ音声を放送アンプへ送り出した音声を調節するためのボリュームです。
放送アンプのボリュームと併用して適性音量に調節してください。

注 音量調節で、過大音量で出力すると本機や放送アンプの故障の原因となるおそれがありますので、適正音量を調節してください。

■ 上　面

⑮ SDカード
緊急地震速報、避難訓練用、告知・案内、放送用コメントを記録したSDカードです。
（音声ファイル MP3）

注 SDカードに記録されている音声ファイルをパソコンや音楽編集機器などで
編集しないでください、放送用コメントが流れないおそれがあります。
音声の編集にあたっては、弊社、または販売元にご依頼ください。

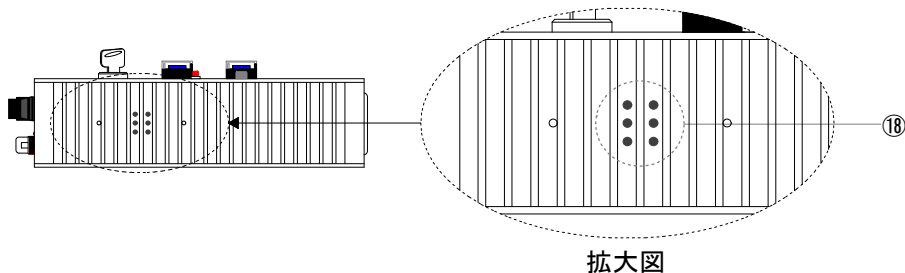
⑯ SDカード・スロットル
SDカード挿入口です。

注 SDカードは付属品（ SD Memory Card Specification Ver 1.1準拠 ）をご使用く
ださい、他のメモリー・カードを使用すると故障の原因になります。

⑰ SDカード・スロットル カバー
SDカード挿入口にゴミやほこり等が入らないためのカバーです。

注 SDカード・スロットル カバーは必ず閉めてください、開けたままだと、ごみや
ほこり、異物、等が入り故障の原因となります。

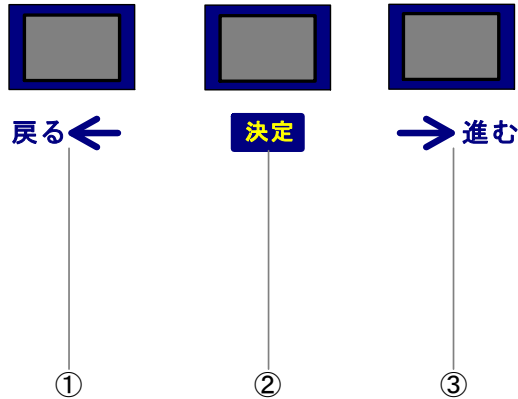
■ 右横面

拡大図

⑱ 内蔵スピーカ
緊急地震速報、告知・案内、避難訓練、などの音声を発報します。

操作方法

■ 画面内容の移動方法

◎ メニュー 操作ボタン

● 本機には3個のメニュー 操作ボタン、ボタンを押すときは軽く押してください。

① 操作ボタン（戻る）

各メニュー項目画面を、前画面に戻したりカーソル位置を移動するのに使用します、また基本画面時に押すと、受信履歴（最大5件の受信履歴）を確認することができます、また受信履歴は、随時新しい地震情報を受信するごとに古い受信情報を消去していきます。

② 操作ボタン（決定）

各メニュー項目の決定に使用します、また基本画面時に押すと、本機の設置位置情報を表示します、またメニュー項目を変更する際に、メニュー画面表示中2秒長押しすることによりメニュー変更のカーソルが表示されメニュー変更ができます。

③ 操作ボタン（進む）

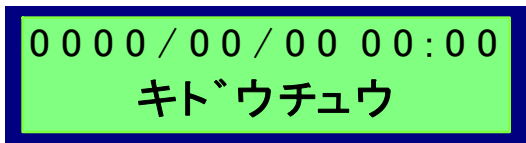
各メニュー項目画面を、次の項目に進めたりカーソル位置を移動するのに使用します、また基本画面時に押すとメニュー画面を表示します。

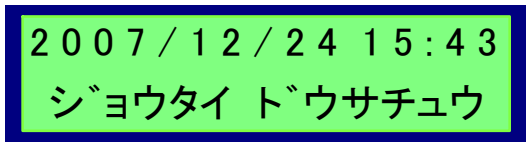
■ ディスプレイの表示について

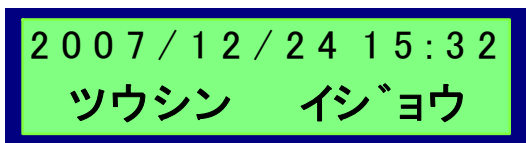
● 本機の主電源スイッチを入れてから約3秒間の間、次のような画面を表示します、この表示の間は操作ボタンからの操作はできません。

Ｈｅｌｌｏ！

● 本機立ち上がり後、時刻設定電文の受信待ちとなり、時刻設定電文を受信するまでは下図の画面となり、時間表示がフラッシュします、動作条件が整っていない状態で時刻設定を受信した場合時間は0表示のまま固定表示となります、受信条件が満たされている場合は時計が表示され基本（アイドル）画面になります。

００００／００／００ ００：００
ｷﾄﾞｳﾁｭｳ

● 運用キーの一致した時刻設定電文を受信すると下図の画面となり緊急地震速報の待受け状態になります（基本画面）この画面で操作ボタンによるメニュー画面を起動して各種設定、操作を行なうことができます。

２００７／１２／２４ １５：４３
ｼﾞｮｳﾀｲ ﾄﾞｳｻﾁｭｳ

● 電源投入後、または待機（基本画面）状態で下図の画面が表示されますと通信異常状態になります、この状態では時刻設定電文や地震速報配信が受信できなくなりますのでインターネット接続環境を確認してください、接続環境状態が良好になれば自動的に時刻設定電文を受信して、基本画面に戻り、待機状態になります。

２００７／１２／２４ １５：３２
ﾂｳｼﾝ ｲｼﾞｮｳ

○ 電源投入直後、通信異常のアラームが鳴動しランプが点滅しますが異常ではありませんので、ブザー停止ボタンを押して復旧してください。

操作手順

■ 各機器の接続がすべて完了後の操作手順になります。

① 電源を入れる前に確認
接続端子はすべて正しく接続されているか、ネジの緩みはないか、電源入力コネクター・音声出力ジャックは根元までしっかり差し込んであるか確認してください。
SDスロットルにSDカードが入っているか確認してください。外部制御起動 オン・オフキースイッチは所定の オン・オフになっているか確認してください。

② 電源を入れる
本機に電源投入後、電源ランプが点灯していることを確認します。

③ 機器が正常に待機常態か確認
電源投入後しばらくして通信異常は出ていないか、外部制御起動 キースイッチに接続した設備は正常に作動しているか、（P波センサーや告知・案内放送接点を接続した場合はその機器も正常に作動して待機常態か）放送アンプは正常に作動して待機常態か、確認してください。

注 ここまでの段階で問題がなければ次へお進みください、もしこの段階で不具合があればもう一度最初から全て見直して確認してください。

④ 緊急地震速報受信装置の基本設定を行ないます
別紙の緊急地震速報受信機基本設定をディスプレイの画面を見ながら操作ボタンで地震速報、タイマー、外部制御震度警報レベル、などの設定を行なってください。

注 緊急地震速報受信部の基本設定は確実に行なってください、各設定にエラーや見落としがあるとその後の動作がうまく働かない恐れがあります。

⑤ 機器が正常に作動するか確認
地震速報受信装置をテスト設定にします、テスト設定は各警報レベルごとにテストを行なってください、配信テストと同時に警報震度レベルごとに設定した外部制御 A・B・C動作表示ランプが点灯しているか、外部制御起動 キースイッチに接続された設備が警報震度レベルごとに正しく作動しているか確認してください。
P波センサー接続の場合もP波センサーテスト（テスト設定は、P波センサーの取扱説明書を参照してください）と同時に外部制御が正しく作動しているか確認してください。

⑥ 放送アンプから緊急地震速報音声が放送されているか確認
SDカードに記録された音声が放送アンプを通して各所のスピーカが鳴動しているかを確認してください、その際に音声出力の音源を音量調整面の SDカード・全体音量のボリュームで調節して放送アンプのボリュームで適正音量に調節してください。

■ 各機器の接続がすべて完了後の操作手順になります。

⑦ 緊急地震速報テスト終了後の確認

緊急地震速報配信テストやP波センサーの配信テスト終了10秒後に外部制御 A・B・C動作表示ランプが消灯し待機状態にもどります。

⑧ 周辺機器復旧の確認

配信テスト復旧後に放送アンプ、その他各外部制御起動 キースイッチに接続された設備が復旧して通常の動作をしているか確認してください。

注 本地震が発生し発報した場合でも前記同様外部制御起は地震速報受信中は起動をし続けて、受信終了後10秒後に外部制御は復旧し自動で待機状態に戻ります。

⑨ 避難訓練用 / 告知・案内放送 操作ボタンの操作確認

避難訓練用操作ボタンを押してSDカードに記録された避難訓練用放送コメントが放送アンプを通して各所のスピーカから鳴動しているか確認してください。
告知・案内放送用操作ボタンを押してSDカードに記録された告知・案内放送コメントが放送アンプを通して各所のスピーカから鳴動しているか確認してください。

⑩ 告知・案内放送 をプログラム・タイマーからの自動放送する場合の確認

告知放送 / パルス信号接点端子をプログラム・タイマーと接続して自動での告知・案内放送を行なう場合はプログラム・タイマーの接続及びタイマー設定（プログラム・タイマーの詳細についてはプログラム・タイマーの取扱説明書を参照してください）を確認して、タイマー起動設定時間に本機が作動してSDカードに記録された告知・案内放送コメントが放送アンプを通して各所のスピーカから鳴動しているか確認してください。

定期点検

■ メンテナンス

※ 本製品は常に安定稼動させるために、定期点検を行なってください。

◎ 日常の点検

本機のディスプレイが基本画面（待機状態）で、以下の点を確認してください。

① SDカードはしっかりSDカードスロットルに入っているか。

② 電源ランプはちゃんと点灯しているか。

③ サーバー接続状態で通信異常ランプが点滅して警報ブザーが鳴っていないか。

④ 外部制御 A・B・C動作表示ランプは消灯しているか。

⑤ 外部制御起動 オン・オフ キースイッチは所定のオン・オフになっているか。

本機を配信テストを行なった場合で以下の点を確認してください。

① 放送アンプとの連動及び各所スピーカの鳴動しているか。

② 外部連動制御は正常に作動しているか。

③ 外部制御 A・B・C動作表示ランプは点灯しているか。

④ 内蔵スピーカからも音声が出ているか。

⑤ 配信テスト終了後に全ての外部制御機器が正常に復旧しているか。

上記にかかわらず、本機に異常が見られた場合はただちに弊社または販売元までご連絡ください。

◎ 業者による点検

本機の内部で使用している部品の劣化や寿命などを点検するために、1年に1回は弊社または販売元の指定業者に点検を依頼してください。

※ 業者による点検は、本製品の保証期間内外を問わず有料となります。

※ SDカードに記録されている音源を編集してしまい、放送アンプから鳴動しない場合の音声ファイルの再編集依頼は、有料となります。

■ トラブルシューティング

◎ 電源が入らない。

● 電源プラグや電源入力コネクターが抜けていませんか。

● 付属のヒューズが切れていませんか。

● ACアダプターが本機の純正品をご使用していますか。

● 放送アンプ内電源制御ユニットを使用している場合、非連動専用に接続されていますか。

※ ACアダプターは AC100V、60/50Hz専用です。

※ 変圧器等を使用している場合、その機器の仕様をもう一度お確かめください。

◎ 通信異常のランプが点滅してアラームが鳴り止まない。

● 本機は通信異常ランプを点滅させることによってネットワークに異常が発生していることをお伝えします。サーバーとの通信ができない場合、約3分単位で自動的に再起動を繰り返します、再起動を繰り返し通信異常のランプが点滅を繰り返し警報アラームが止まらない場合は次の項目を確認してください。

① サーバーとの接続ができない時

ネットワーク環境をお確かめください。（ハブ、ルーター、プロバイダー）
ルーターセキュリティー設定の TCP「9001」ポートの制限を許可してください。
ルーターのDHCP設定を有効にしてください。

② 通信ができてもユーザー登録が完了していない時

本紙「機器の設置　利用申込み登録方法（15ページ）」を参照してください。

③ 主電源スイッチを入れなおしてその変化をお確かめください。

④ LANケーブルに傷が入ったり断線していませんか。

⑤ LANケーブルが正しく接続されているかお確かめください。

⑥ ハブ、ルーター、インターネット・プロバイダー の設定をお確かめください。

⑦ 使用しているネットワーク機器（モデム、ルーター、ハブ）の電源を入れ直してみてください。

⑧ ルーターセキュリティー設定のTCP「9001」ポートの制限を許可してください。

⑨ ルーターのDHCP設定が有効になっているかお確かめください。

⑩ パソコンやネットワーク機器が本機と同じIPアドレスを使っていないかお確かめください。

困った時は

■ トラブルシューティング

◎ ボタンの操作ができません。

① 本機に電源を入れて基本画面が出てくるまで操作できません。
② 地震警報が発報している途中はボタンを操作できません。

◎ 画面の文字が見えません。

● 基本設定で、「画面スリープ」状態になっていませんか。

◎ P波センサーからテスト信号を受信しない。

● 制御信号線は傷が入ったり断線していませんか。
● 接続端子はしっかり接続されていますか。
● P波センサー受信機の電源は入っていますか。
● P波センサーの詳細については、P波センサー機器の取扱説明書にてご確認ください。

◎ 外部機器への連動制御が働かない。

● 制御信号線は傷が入ったり断線していませんか。
● 接続端子はしっかり接続されていますか。
● 外部制御起動キースイッチが OFFになっていませんか。
● パルス・メイク・ブレイク接点は合っていますか。
● 基本設定で警報震度レベル、制御接点の各設定はしてありますか。
● 外部機器の連動制御接点が本機の接点と適合しているか、連動設備機器によっては各機器のメーカー打ち合わせが必要になることがありますので、ご注意ください。

◎ 緊急地震速報・避難訓練・告知・案内・P波受信、自主放送音声が出ない。

● 音声信号線は傷が入ったり断線していませんか。
● 音声信号線は必ずマイク線をご利用してください。
● 音声プラグはしっかり接続されていますか。
● 放送アンプの音声入力定格（0dB 10k）はあっていますか。
● SDカード・スロットルにSDカードは挿入されていますか。

■ トラブルシューティング

◎ 緊急地震速報・避難訓練・告知・案内・P波受信、自主放送音声が出ない。

● SDカードに放送用コメントの音声ファイル（MP3)は記録されていますか。

● 音量調整面のモニター、SDカード、全体音量のボリュームは適正音量に調節されていますか。

● 放送アンプの音声入力ラインのボリュームは適正音量に調節されていますか。

◎ すべてのテスト終了後自動復旧しない。

● 接続されたすべての配線は傷が入ったり断線してはいませんか。

● 接続端子はしっかり接続されていますか、ネジの緩みはありませんか、またネジ端子の締め付け過ぎによる接続不良はありませんか。

◎ その他

● その他の疑問点や本機の不具合がありましたら弊社または販売元にお問い合わせください。

● お問い合わせの際は必ず、お客様が使用している機器の型番をお伝えください。
（本体操作面の右下に記載されています。）

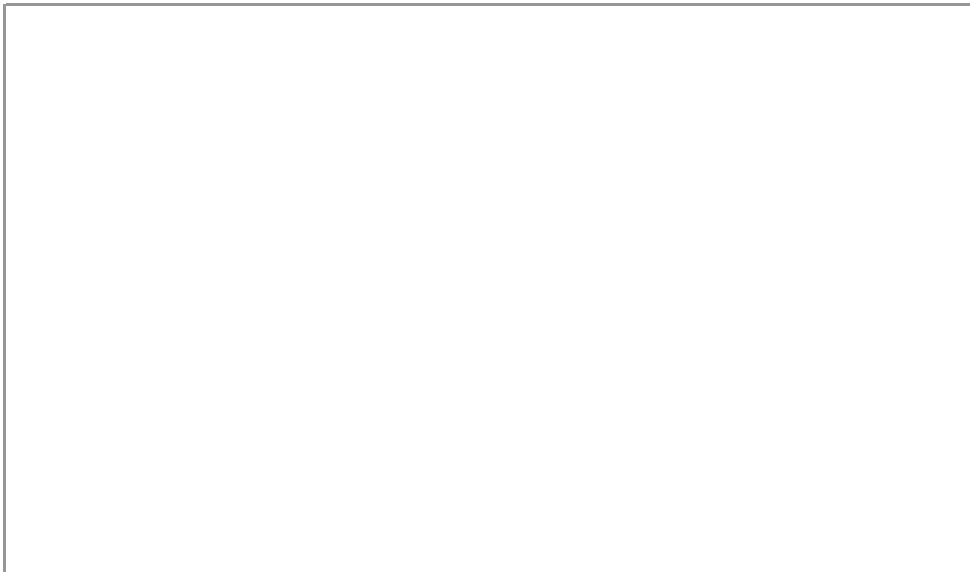
◎ 修理の受付

● 本製品の不具合等による交換をご希望の方はご連絡いただく前に本取扱説明書、別紙の設定用取扱説明書を参照し、設置方法や設置等が正しいか地震速報情報入力プログラムに問題はないか再度ご確認ください。正しい設置、プログラムを行なっているにも関らず不具合が改善されない場合は、弊社又は販売元までご連絡ください。

○ 保証期間中の場合

● 保証書の記載に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書ならびに保証書裏面無料修理規定をお読みください。

○ 保証期間後の場合

● ご要望により有料で修理させていただきます。

困った時は

■トラブルシューティング

※ ご注意 ： 必ずお読みください

- 製品をお送りいただく前に、必ず弊社又は販売元へご連絡のうえ、窓口の了解を得てください。弊社担当窓口の了解なくお送りいただいた場合は、受け取りが拒否されます。
- 弊社までの送料はお客様のご負担となります。着払いでお送りいただきますと、受け取りが拒否されます。なお、輸送中の事故においては、弊社は責任を負いかねます。
- 修理の際、本製品は工場出荷時の状態に戻ります。お客様が行なった設定、及び警報履歴は消去されます。
- 上記は仕様および改善のため変更になる場合もありますので、弊社またはWebサイトでご確認ください。
- 「初期不良」は、製品ご購入後1週間以内に弊社へご連絡いただいた場合に限ります。

◎ 連絡先

■ WZ-2100HB 制御チャート

● 緊急地震速報受信装置起動時制御チャートになります。

受信部

制御信号

1～3秒遅延可

音声信号

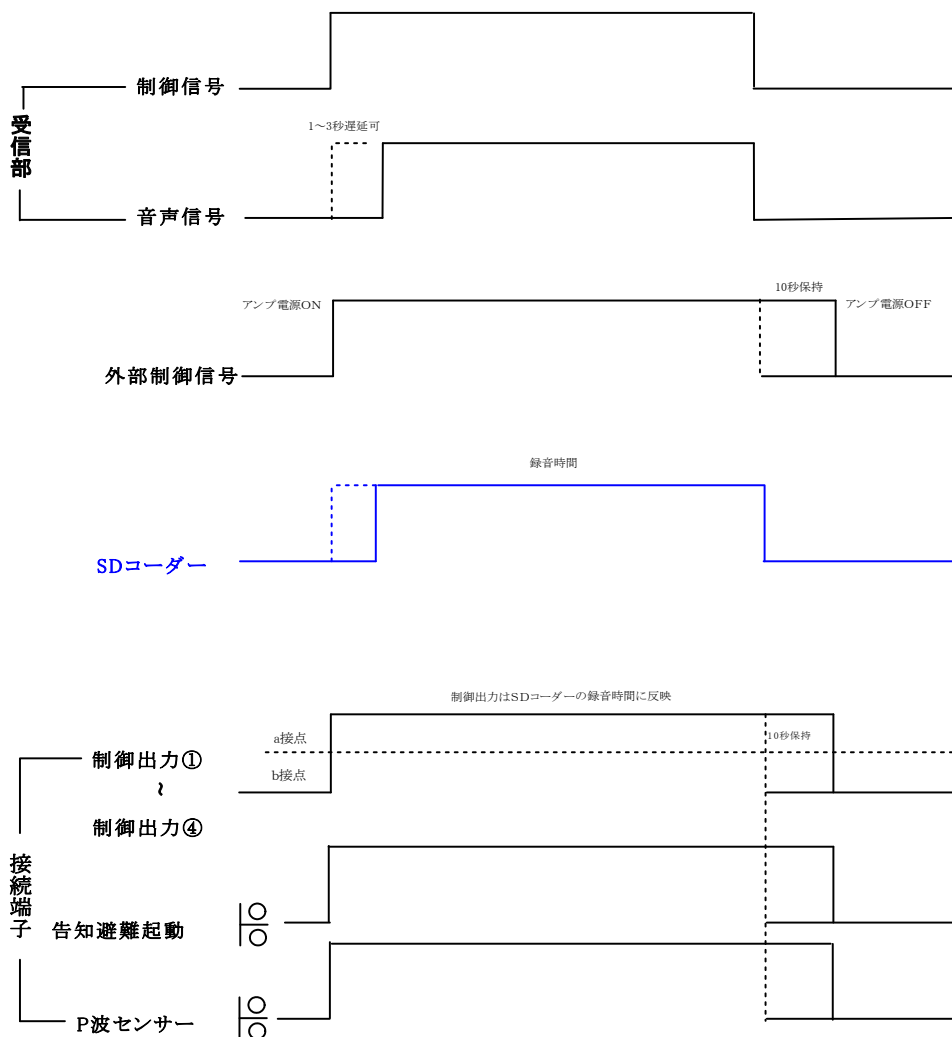
10秒保持

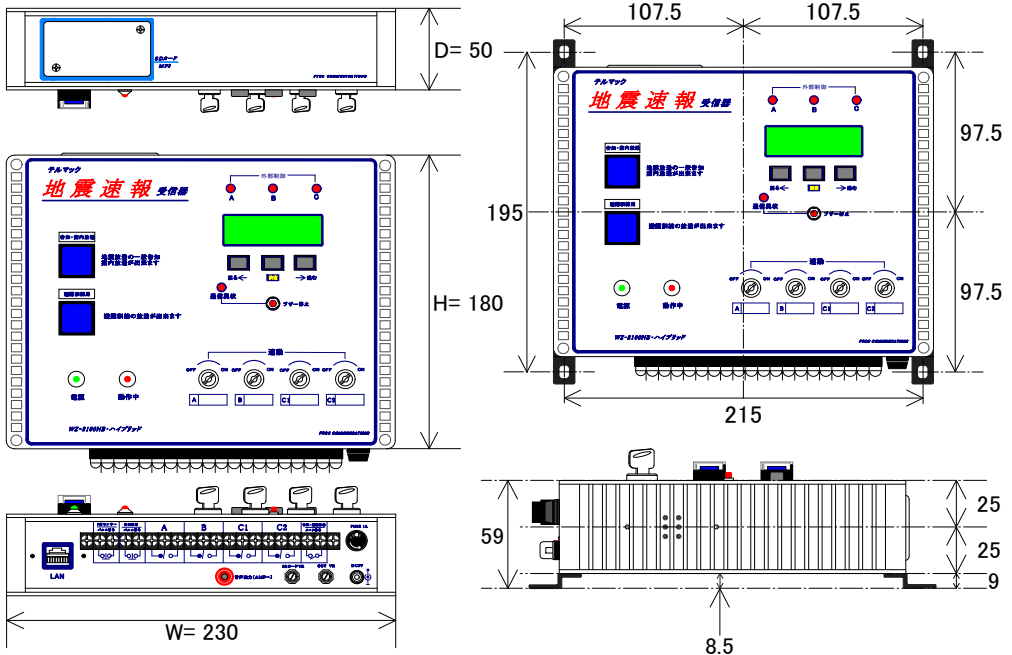
アンプ電源ON

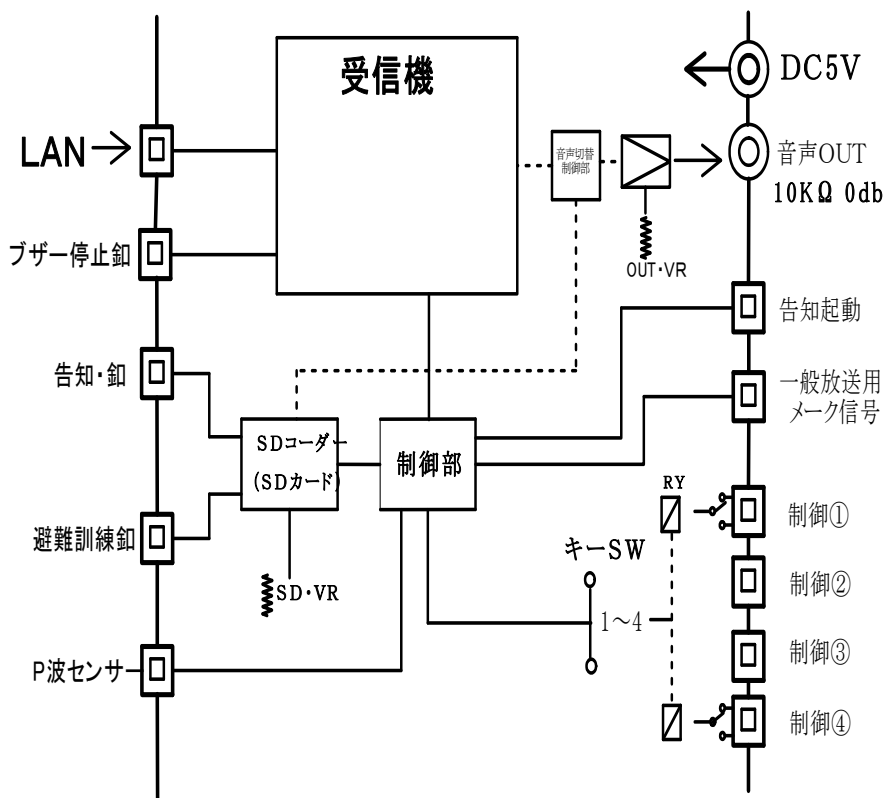
アンプ電源OFF

外部制御信号

録音時間

SDコーダー

仕　様

■ 機器の名称　緊急地震速報受信装置
■ 品　番　WZ-2100HB
■ 定格電圧　DC 5V　待機時 100mA　動作時　700mA
■ 消費電力　2 W
■ 温湿度条件　40℃ RH以下（ただし結露なし）
■ 音声出力　1回路　RCA　MONO　0dB / 10k
■ 接点出力　C 型接点　4回路
■ 接点方式　震度設定を外部機器に振り分け可（A･B･C）
■ 接点容量　AC 100V　0.5A　DC 24V　1A
■ 復帰時間　放送終了後 10秒
■ 材質・質量　アルミ　・　2kg
■ 地震速報受信部・通信方式　テルマック・IPV4　LAN RJ45 100/10BASE-T
■ 外形寸法　下図参照（単位 :mm）本体部突起含まず

※ 本機の仕様および外観は、改善のため予告なく変更することがあります。

■ 系統図詳細

※ 本機の仕様および外観は、改善のため予告なく変更することがあります。

地震速報制御プログラミングチャート

■ WZ-2100HB 地震速報装置プログラミングチャート （1）

コピーしてお使いください

作成日 : 年 月 日 作成者 :

ＷＺ－２１００ＨＢ設置場所			
ＷＺ－２１００ＨＢ ２４Ｈタイマー設定時間			
起動タイム オン	:	起動タイム オフ	:
インターネット用ルータ・ハブ設置場所			
Ｐ波センサー設置場所			
放送アンプメーカ・型番			

放送アンプ起動接点・音声入力名	
緊急地震速報放送起動接点	
告知・案内放送起動接点	
音声入力名	

プログラム・タイマーメーカ型番・起動回路Ｎｏ．			
メーカ 型番		起動回路 No.	

告知・案内放送プログラム・タイマーによる自動放送設定時間	
1回目起動時間	毎日 ・ （ ）曜日を除く毎日 AM ・ PM :
2回目起動時間	毎日 ・ （ ）曜日を除く毎日 AM ・ PM :
3回目起動時間	毎日 ・ （ ）曜日を除く毎日 AM ・ PM :
4回目起動時間	毎日 ・ （ ）曜日を除く毎日 AM ・ PM :
5回目起動時間	毎日 ・ （ ）曜日を除く毎日 AM ・ PM :
6回目起動時間	毎日 ・ （ ）曜日を除く毎日 AM ・ PM :
7回目起動時間	毎日 ・ （ ）曜日を除く毎日 AM ・ PM :

■ WZ-2100HB　地震速報装置プログラミングチャート （2）

コピーしてお使いください

作成日 ：　　　年　　月　　日 作成者 ：

<table>
<tr><td colspan="4">インターネット接続回線種類</td></tr>
<tr><td colspan="4">ISDN ・ ADSL ・ VDSL ・ FTTH ・ CATV ・ その他</td></tr>
<tr><td colspan="4">インターネット・プロバイダー利用社名</td></tr>
<tr><td colspan="4"></td></tr>
<tr><td colspan="4">インターネットモデム・ルータ使用状況</td></tr>
<tr><td colspan="4"></td></tr>
<tr><td colspan="4">端末ID／WAN IP情報</td></tr>
<tr><td>Terminal ID</td><td>EQP</td><td>WAN IP アドレス</td><td></td></tr>
<tr><td colspan="4">緯度／経度／地盤増幅率情報</td></tr>
<tr><td>北緯 N</td><td></td><td>地盤増幅率 A</td><td></td></tr>
<tr><td>東経 E</td><td colspan="3"></td></tr>
<tr><td colspan="4">外部制御警報レベル</td></tr>
<tr><td>外部制御 A</td><td colspan="3">震度</td></tr>
<tr><td>外部制御 B</td><td colspan="3">震度</td></tr>
<tr><td>外部制御 C</td><td colspan="3">震度</td></tr>
<tr><td colspan="4">外部制御接続内容・キースイッチ ON OFF</td></tr>
<tr><td rowspan="2">A</td><td colspan="3">キースイッチ ON ・ OFF</td></tr>
<tr><td colspan="3"></td></tr>
<tr><td rowspan="2">B</td><td colspan="3">キースイッチ ON ・ OFF</td></tr>
<tr><td colspan="3"></td></tr>
<tr><td rowspan="2">C1</td><td colspan="3">キースイッチ ON ・ OFF</td></tr>
<tr><td colspan="3"></td></tr>
<tr><td rowspan="2">C2</td><td colspan="3">キースイッチ ON ・ OFF</td></tr>
<tr><td colspan="3"></td></tr>
</table>

（有）富士通信設備

注　このページは商品をご購入の際に記載されたページのみが有効ページとなりますので、このページは無効ページとなります。

必要事項記入された保証書ページのみ有効とさせていただきます。

保　証　書

(有)富士通信設備

注　このページは商品をご購入の際に記載されたページのみが有効
　　ページとなりますので、このページは無効ページとなります。

　　必要事項記入された保証書ページのみ有効とさせていただきます。